

昭和 47 年 4 月 1 日

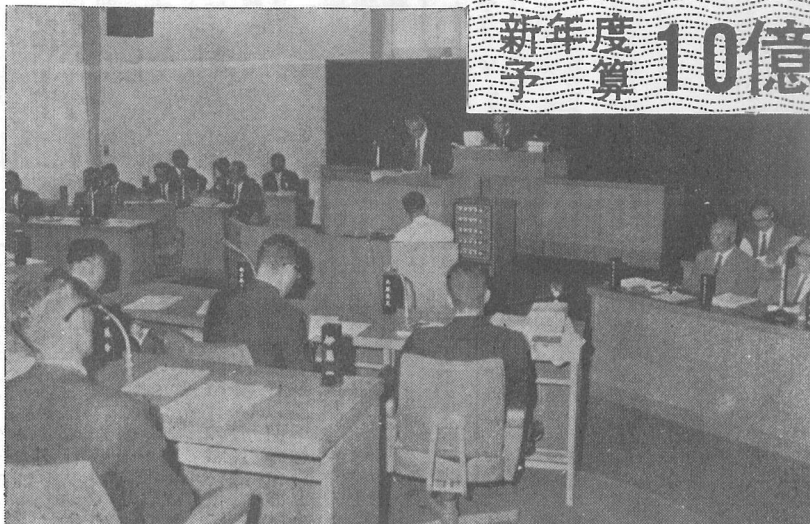
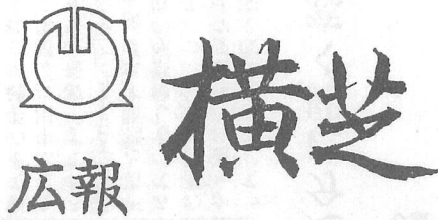
発行所

山武郡横芝町横芝636番地
横芝町役場
電話 04798-2-1111(代)
郵便番号 289-17

横芝町の人口と世帯

< 2月29日 現在 >

人 口	12,575 人
男	6,021 人
女	6,554 人
世 帯 数	3,025



新年度 10億円トツパ

建設事業費に

四億五千七百万円

昭和四十七年度横芝町一般会計及び特別会計予算は、三月十一日から開かれた定例会(会期十四日)に上程され原案通り可決されました。

会計別予算(単位千円)

一般会計	八六六、〇〇〇
国保会計	一四二、八一四
有線会計	一六、六二一
老人ホーム会計	一七、五四三
保養センター会計	六、五三五

なお、この議会で伊東町長は次のような、新年度予算の編成方針を述べております。

昭和四十七年度における日本経済の見通しは、米国のドル防衛策、円切り上げ等の影響を受けて、輸出産業の不振からくる景気停滞は、更に当分の間続くものと推測されております。このような状況下において政府は多額の国債を発行して公共投資を行ない、景気を浮揚させる政策をとる模様であります。横芝町としては、景気停滞の影響により最も大きな部分を占めている。町税と、地方交付税にそれ程の伸びを期待することができない状態におかれております。また、才出面では人件費、各種の事業実施に伴う公債及び債務負担行為の償還額各種事務組合、協議会等の負担金等、義務的経費は年々大巾に増大する傾向にあり、才入才出のバランスをとる上に

於いて、非常に窮屈な予算編成をしなければならぬ訳であります。昭和四十七年度予算は、このような苦しい財源難の中で、横芝町基本構想の趣旨を織り込み、山武郡市広域市町村圏計画の第二年度として、引続き道路の整備を始めて、産業の発展、教育施設の充実、住民福祉の向上を基調として編成いたしました。特に道路の舗装、工業団地の推進、大総小学校、保育所の防音工事、老人医療費の全額給付等を重点として、積極的に予算計上いたしました。

とりわけ、大総小防音工事等の関係もあり、予算規模は、前年当初に比べて二倍の大型予算となっております。以下重点事業の概要は次のとおりです。

大総小学校防音工事については、県知事の強力な支持のもとに県事務当局と折衝し、本年中に実施すべく総額一億五千四百四十二万九千円を計上いたしました。

大総保育所防音工事については鉄筋コンクリート一階建二五二平方メートル、建設費は二百三十五万八千円を計上いたしました。

分譲住宅地造成工事については、先に買収済の旧高橋学園用地を分譲住宅地にすると、一千七百九十四万八千円を計上いたしました。以上のほか、栗山川漁港改修事業費一千七百六十万円、農道舗装費三百四十万円、青年館建設費三百十万円等が計上されております。以上主な事業概要を申し上げますが、これらの事業を完遂させるためにも、町民各位の絶大な御協力をお願いいたします。

注 予算の内容分析や財政状況については次号で報告いたします。

